

## 2019（令和元）年 IEC活動推進会議（IEC-APC）議長賞受賞者

電気・電子分野の国際標準化機関であるIEC（国際電気標準会議）の活動は、市場のグローバル化に対応してますます重要性が高まっています。IECへの日本の貢献と産業界の意見反映を目的に平成3年に設立されたIEC活動推進会議（IEC-APC）は、日本提案のIEC分野で顕著な貢献をした個人またはグループを毎年表彰しています。

本年は10名を、令和元年6月4日（火）の第29回IEC活動推進会議総会で表彰しました。



（後列・左から：石川氏、稲垣氏、垣内氏、金野氏、鈴木氏、高橋氏、横田氏）  
（前列・左から：竹中氏、福田JSA常務、中野課長、望月議長、藪副議長、堤IEC副会長）  
（ご欠席：大和久氏、田中氏）

議長賞（敬称略・50音順）

### 石川 弘樹 [住友電気工業株式会社]

IEC TC 86（ファイバオプティクス）のSC 86A/WG 1（光ファイバ）、SC 86A/WG 3（光ケーブル）の国際・国内委員として、光ファイバおよび光ケーブルの測定・試験法および製品規格の標準規格化などに幅広く貢献した。

### 稲垣 亮介 [ローム株式会社]

IEC TC 47/SC 47A（半導体デバイス／集積回路）の国際委員・国内委員会委員長として、半導体電磁両立性(EMC)の測定法及びモデリング手法、国際規格制定並びに日本提案に長期に渡り尽力。特に数多くの規格妥当性検証を行い、IEC国際規格への日本意見の反映に極めて多大なる貢献・功績を残す。

### 大和久 吾朗 [一般社団法人日本電機工業会]

IEC SC 23E（住宅用遮断器）をはじめとするIEC国内委員会の幹事として、国内委員会の円滑な運営に努めている。特に国内強制法規との規定も考慮して日本意見の反映に努め、特に電子式漏電遮断器については日本方式をIEC規格へ盛り込むことに成功した。

### 垣内 健介 [株式会社昭電]

IEC SC 37A（低圧サージ保護デバイス）エキスパート及び国内委員会担当幹事として、日本の低圧配電システム、及び一時的過電圧(TOV)試験値をまとめ、その導出方法を国内外に明示し、IEC 61643-11及びIEC 61643-12の国際標準化に貢献。

### 金野 郁郎 [株式会社UL Japan]

前身のIEC TC 74から現在まで20年間、IEC TC 108（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）国内委員会委員として、また2014年からは国際エキスパートとしてTC 108管轄の規格開発活動に参加し、多くの日本提案を反映させた。またIEC TC 96（変圧器、リアクトル、電源ユニット等）の国内及び国際委員として5年間活動し、IEC 61558シリーズの規格開発にも貢献。

**鈴木 洋典 [東芝エネルギーシステムズ株式会社]**

世界に先駆け日本で開発された酸化亜鉛形避雷器の諸規格に、日本固有技術を反映させたIEC TC 37（避雷器）における国際規格の内容を維持・向上させる活動を推進し、最近改定された規格にこの趣旨を反映させた。更に今後計画されているIEC/IEEE Joint会議で、日本が貢献できる送電線用避雷器の dual logo 規格(PT 60099-11 Ed.1)の制定活動に参画予定。

**高橋 達見 [次世代プリントエレクトロニクス技術研究組合（JAPER）]**

2004年から15年間に渡り電子ペーパーコンソーシアムで標準化活動を行う一方で、国際標準化の場では、2011年の発足当初より7年間に渡りIEC TC 110/WG 7のConvenorを務めるなど、電子ペーパーに関する国際標準化を推進し、我が国の産業発展に大きく貢献した。

**竹中 みゆき [株式会社日立ハイテクノロジーズ]**

IEC TC 111（電気・電子機器、システム的环境規格）の国際副議長、TC 111/WG 3の国際共同主査として、2005年から現在に至るまで、環境に関わる国際規格開発とTC 111の運営に寄与した。特にRoHS指令に対応した電気・電子製品中の有害物質の測定方法の規格化(IEC 62321)を通じて、日本の産業界が国際競争において優位に立てるよう環境配慮の推進に貢献した。

**田中 玄一 [ルネサスエレクトロニクス株式会社]**

IEC TC 91（電子実装技術）分野において、国際標準化活動の主導的な推進および関連団体との協調により、日本の地位の確立、日本初の半導体設計自動化関連IEC標準の成立、日本の提案活動活性化、規格の改定・普及・実用化促進に貢献した。

**横田 等 [株式会社日立製作所]**

電気・電子機器から発生・漏洩する電磁界への人体ばく露について適切かつ簡便に安全性を評価するIEC TC 106における国際規格の策定・改定において主導的な役割を果たし、国内企業による電気・電子製品の国外輸出・販売における電磁界への人体ばく露規制の対策・啓蒙に努め、我が国における電気・電子製品の開発・製造・販売等において顕著な貢献を果たした。